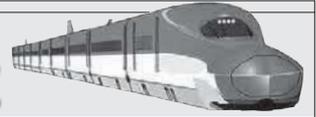


2023年度

北海道新幹線情報



新幹線長万部駅舎滞留空間・施設配置(ゾーン)のそれぞれの大きさは?

町広報2023年6、7月号と滞留空間やゾーンについて掲載してきましたが、今回は滞留空間・各ゾーンの必要面積(規模)を紹介します!

導入する施設の規模は、1日あたりの滞留空間利用者数を基に先進地事例などを参考にして想定を行いました。どうしてその大きさが必要なの? 利用人数はどのように計算したの? 詳しくは下の表をご覧ください!

ゾーン	算定根拠	想定面積
学習・仕事ゾーン	・JR東日本上越線後閑駅の学習スペース規模(70㎡ 20名)を基準に、30名程度が利用想定	約100㎡
文化ゾーン	・長万部町のアイヌ文化や鉄道本線分岐点としての歴史など、本町の文化・歴史を紹介・展示する空間で現長万部町の「鉄道村」規模を想定	約150㎡
交流ゾーン	・新幹線長万部駅利用者数2,900人/日を基に、滞留空間のイベント開催時における必要面積を想定	約640㎡
プレイゾーン	・岩手県いわき市「わんぱくひろばみゆうみゆう」を参考事例として想定	約500㎡
物販ゾーン	・コンビニ: 施設内狭小施設(お土産込み)を想定 ・カフェ、飲食厨房(フードコート)対応型を想定(交流ゾーンが飲食空間)	コンビニ: 約100㎡ 厨房: 約200㎡
防災ゾーン	・災害対策本部: 総務省地方債庁舎算定基準(人口5万人未満市町村) ・備蓄倉庫: 内閣府基準: 延べ床面積にして約62㎡(人口1万人あたり) ・バリアフリー対応トイレ: 必要穴数: 18穴、車椅子利用者トイレ: 1穴	本部: 約180㎡ 備蓄倉庫: 約30㎡ トイレ: 約70㎡
合計		約2,000㎡

表-滞留空間日利用者数算定表

ゾーン	規模(㎡)	算式	日利用者数
学習・仕事ゾーン	100	定員30(人)×3(サイクル/日)	90人/日
文化ゾーン	150	150(㎡)÷3.2(㎡/人)×4(サイクル/日)	188人/日
交流ゾーン	640	駅利用者数2,900人/日×立ち寄り率30(%)	870人/日
プレイゾーン	500	500(㎡)÷13(㎡/人)×8(サイクル/日)	308人/日
計			1,456人/日

まちづくりアクションプランでは一時避難場所として1,000㎡確保していましたが、平時利用も含めて2,000㎡で整備してはと考えています。



お問い合わせ先 新幹線推進課 ☎01377-2-2450



入居者募集

(有料広告)

..... 御相談に応じます

正 堀川アパート

☎01377-2-2377 携帯090-4872-6235

ストーブ・ベッド・その他完備、駐車場完備、敷金なし
月額 28,000円から45,000円まで